



かつしか食協

創刊号：平成28年5月

発行元：葛飾区食品衛生協会
発行人：岩崎英二郎
編集人：菊地明範
〒104-0061 中央区銀座2-10-18
電話 03-3542-0161

自主的衛生管理!
食の安全・安心!
協会の組織強化!

『かつしか食協』の 創刊にあたり



葛飾区食品衛生協会
会長 岩崎英二郎

この度葛飾区食品衛生協会の広報紙『かつしか食協』の創刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

当協会待望の広報紙『かつしか食協』は広報部の多大なご尽力と皆様のご協力により発刊する運びとなりました。大いなる敬意と感謝を表すると共に、お慶び申し上げます。これからはこの広報紙を通して協会の活動予定や報告、又食品の情報等を発信していきたいと存じます。

さて最近、食の事故・事件又食中毒が多発し、大きな懸念となっております。我々食品取扱業者と致しましては、しっかりと危機感を共有し、

食品管理の確立を徹底し食の安全安心を推進し、以って消費者の福祉増進に寄与してまいりたいと願っております。

ところで近年当協会の会員が減少傾向にあります。協会の強化を計り、会員増強に努力してまいります。

保健所や協会が主催する講習会・研修会等に多くの会員に参加して頂き、会員一人ひとりが研鑽を重ね、食に対する見識を深めること。いわゆる質の向上

に勤めることにより、協会に加入している施設なら絶対安全であると認識して頂き、それが信頼に繋がります。強いては協会への強化となります。このことこそが協会員である最大のメリットではないでしょうか。これからも協会への加入推奨に努めてまいります。

二〇二〇年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。会場に近い葛飾には多くの外国のお客様が訪れることでしょう。世界文化遺産に認定された和食を含め、『おもてなし』を念頭に我が葛飾の食文化を大いにアピールしていきたいと存じます。

会員皆様の今後とも積極的なご協力をお願いいたします。ご挨拶とさせていただきます。

葛飾区食品衛生協会の ご発展に向けて



葛飾区保健所
所長 中西好子

この度は、葛飾区食品衛生協会広報紙の創刊おめでとうございます。この広報紙の発行は、貴協会会員の重要な手段となるはずで

さて、最近の食品衛生を取り巻く状況について、少しお話しさせていただきます。昨年度においては、食品表示に関する三つの法律が統合された食品表示法という新しい法律が施行され、消費者にとって有用な情報が得やすくなりました。また、食品の輸出促進をも視野にいれた、HACCP

一般社団法人 東京都食品衛生協会

銀座総合事務所



所長 古林 正行

この度の、貴協会のご創刊、誠に頼は大きく損なわれてしまいました。

さて、新年早々、食品廃棄物業者による、カレーチキン店が廃棄した冷凍カツを不正転売していた問題が発覚し、さらに、冷凍食品メーカー、コンビニエンスストアなどの廃棄食品も横流ししていることが判明いたしました。

食生活の多様化、食品流通の広域化、健康意識の高まりなどを背景として、食品の安全についての関心が高まる中、食品業界に対する消費者の信

葛飾区食品衛生協会 平成28年新年賀詞交歓会

葛飾区食品衛生協会では、例年1月に「新年賀詞交歓会」を開催して、会員相互や関係諸先輩諸先生との意見交換及び親睦を深めています。

今年も、1月18日(月)に柴又の「川千家」にて午後2時より開催されました。当日は、48名の参加者があり、加藤総務部長の司会で進行されました。

始めに、岩崎英二会長が「昨今の食品衛生の環境と飲食店が減少している現状を踏まえたうえで、当協会は、今後どのような事業を展開していくべきかを良く考え、協会の組織を強化していく必要があります。私達食品事業者は、自主衛生管理を徹底し、食品の安全安心に関わる知識の充実化を図り、以って消費者の食の安全安心に寄与していく事最大の使命と言えるのではないかと考えられます。」と年頭の挨拶を述べた。

続いて来賓の青木克徳葛飾区長、平沢勝栄衆議院議員、東京都議会議員、葛飾区保健

所長等々の諸先生諸先輩の方々からご祝辞を頂戴した。

私達食品衛生協会は、関連法規を遵守しつつ「食の安全・安心の確立」という重大な責務を担っています。この事に依り、各行政の諸先生方との緊密な情報交換が必要であり、尚一層のホットな関係を構築していきたいと考えられます。

新年会は、乾杯の音頭で宴会に入った。各テーブルには、さしみ、天ぷら、鍋等々の和食が配膳され、酒やビールを呑み交わし自由闊達な談義に花が咲いていた。

宴会場は、熱気と湯気で窓ガラスが曇る程であった。時間が過ぎるのも忘れ、帰りは川千家特製のうなぎ弁当が全員に振る舞われ解散した。

その後、少人数にて分散し各々二次会へと思い思いの店に足を運んだようである。

常任理事会の役割

葛飾区食品衛生協会では、食品衛生の普及啓発向上に向け、様々な事業を行っております。

これらの事業の企画審議立案に関わる手続きを、月例の常任理事会にて決定してまいります。

常任理事会にて決議された事業は、会長を先頭に各執行部が各々の事業を担当し、協



平成28年度 主な事業予定(案)

年	月	日	曜日	事業名	会場	内容
28	4	12	(火)	監査・執行部会	川千家	平成27年度決算報告及び会計監査
		26	(火)	常任理事会	葛飾区保健所	総会提出議案審議
	5	17	(火)	通常総会	テクノプラザ かつしか大ホール	
		30	(月)	常任理事会	葛飾区保健所	事業実施内容等検討
		20	(月)	自治指導員講習会	葛飾区保健所	平成28年度指導事業について他
		11	(月)	常任理事会	葛飾区保健所	衛生講話
	6	23	(火)	管外研修会	未定	
		11	(日)	健康教室	葛飾区保健所	
	7	15	(木)	常任理事会	葛飾区保健所	
		5	(水)	常任理事会	葛飾区保健所	
	8	14	(金)	産業フェア	葛飾区保健所	
		16	(土)	消費者懇談会	葛飾区保健所	
	9	19	(土)	葛飾フードフesta	新小岩公園	
		20	(日)	執行部会	川千家	
	10	16	(月)	新年賀詞交歓会	川千家	
		2	(木)	常任理事会	葛飾区保健所	
	11	16	(水)	食品衛生責任者実務講習会	テクノプラザ かつしか大ホール	
		後日決定		常任理事会	葛飾区保健所	
	12	5	(月)	常任理事会	葛飾区保健所	
		15	(水)	常任理事会	葛飾区保健所	

コラム

新年度を迎えて 時代の変化に願う!!

副会長 天宮 吉久

私たちの心の伝達として、新聞が発刊される事になり、とても慶ばしい事です。食文化はテレビそしてインターネット等の普及により急速に発展し、私もその業界も多様化し分類すら困難な時代を迎えています。そのような環境の中で、五十年変らぬ事業を続けていますが、会員の団結には円満を感じますが、会員増強には弱さを感じます。

それは時代の歯車に合わなくなってきたのでしょうか、数十年前の多くの会員の応援があった親たちの時代が夢のように思い出されます。私は本年七十六才を迎えます。親より受け継いだ商売で、小学生の頃より自分の家の商売を覗いていますが、時代の変化と共に、今日に至るまでに業種は同じでも五段階ぐらいの変化をしてい

ます。それは努力して変えたわけではなく、対応しつつ変化していったのだと思います。現在は観光的な方向に変わりつつあります。観光の中心は柴又帝釈天です。お寺は人々に「しあわせ」を売る所です。幸せとは心の幸せと肉体の幸せ(健康)がありま

それを伝え教えているのがお寺の役目です。観光とどのような接点を持つか、これからのお寺のむずかしい問題です。この問題については後日に送りますが、私たちの食品衛生協会の会員が急速に減っています。これは、廃業と、私たちの活動に魅力がないからと、理解されないからなのでしょう。新しい理念と、私たちのすばらしい点を見つけて、合理主義、功利主義の競争の世界の中で、頑張るまいりましょう。



平成27年度管外研修会について ~サントネージュワイン工場見学、ホテルふじ

平成二十七年管外研修会について



葛飾区食品衛生協会 副会長 天宮 吉久

十周年記念会も終りはやくも、記念旅行のシーズンを迎えました。一泊旅行の予定でしたが、残念ながら、日帰り旅行と変更になりました。

九月九日(水)当日は台風の影響により、多分に不安感をいだいてのスタート、いつも二三の工場見学をしておみやげを頂くのが旅行の楽しみになっていますが、

本年は、全員にワイン一本ずついただいた事が評判でした。そして研修についてはノロウイルスに唯一効果のあるといわれている消毒薬、次亜塩素酸ナトリウムについて、いろいろと説明をいただき、食中毒を起す寄生虫についても、大変勉強させていただきました。とても充実した旅行になったとおもいます。しかし私にとっては、旅行は温泉に入り、夜の宴会で酒を飲み懇親を深める旅行が好きです。などと思っている所に、



岩手県の友より、イワシの缶詰が届きました。災害から五年が過ぎ、従来の生活には戻りましたが、震災からの復興はまだまたとの事。今日、文明は高度に発展してきましたが、力が優先されています。共生という言葉も聞かれますが、五千年、一万年前の森の文化を共生する時代が来る事を願って、旅行の報告といたします。

食の安全アンケート街頭相談 (葛飾区産業フェア)

10月16日(金)〜18日(日)の三日間、「テクノプラザかつしか」に於いて産業フェアが開催されました。同会場にて、葛飾区食品衛生協会では買い物客や来場者に「インフルエンザとノロウイルス」に関するアンケート用紙に解答してもらいました。その際、正しい消毒液の使い方や、手洗い励行を呼びかけ、食品衛生の普及、啓発を行いました。三日間で1082人が質問に解答し、その解答者全員に景品としてウェットティッシュやジュース等を配布しました。



現代は、細菌・ウイルスに対する研究の進歩、更には医療技術の飛躍的な進歩も遂げている。未来も更に、研究が進むであろう。とは言え、細菌・ウイルスの類は、地球の滅亡迄その生命を誇示するかも知れない。『完全なる食の安全・安心の制覇』は、成し得ないかも知れない。しかしながら、その『金字塔』に向って強い信念を持って、一歩一歩進んでいく事が、最も重要な事であろうと考

葛飾フードフェスタ2015開催

11月21日22日の両日、一昨年と同様晴天に恵まれ2日間で7万4千人が来場した。開始1時間前から人気のラーメン店や、お目当ての店にぞくぞくと並び、50人百人と列が出来た。食協加盟の店からは、6店が参加した。開始1時間すぎには一千席の飲食スペースが満杯になる程の盛況ぶりだ。舞台上に葛飾フードフェスタ親善大使のLilicoさんの登場で更に盛り上がった。本年も11月19日20日に新小岩公園にて開催されます。出展者に応援して上げて下さい。

私達は、正しい手洗いの仕方の普及啓発活動、そして手洗いの励行を日夜行っている。調理器具の消毒殺菌、食品の衛生管理、従業員の健康管理、調理場や店内全域に及ぶ衛生管理……並べると限りがない。

加えて。「敵」は、肉眼では観ることのできない、私達人類よりも圧倒的に生命力の強い有史以前からの先住者達である。奴等は、決して諦めることではない。死滅する事もない。私達は、そんな奴等と24時間、休む事なく闘っている。幸にして私達人類は、知識、知恵というものを授けている。一つ一つ確実に手順を踏んで作業を処理してゆくしか、私達の道はない様に思える。

高志高塔

広報部長 菊地 明範

編集後記

葛飾区食品衛生協会は、情報発信の媒体として広報紙を発行する事になりました。今後は、一年に二回新年度号と新春号を発行していく予定です。今回、創刊号の発行に際し、関係各位様の大なる御指導御協力を頂戴しました事を、この場を借りまして衷心より御礼申し上げます。今後共、ご忌憚のないご意見を賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

編集人 広報部長 菊地明範